

近畿地方整備局事業評価監視委員会（平成17年度第3回） 議 事 録

1. 日 時 平成18年2月9日（木） 13:30 ~ 17:00

2. 場 所 ホテルモンテグラスミアハウス

3. 出席者

委 員 吉川 和広 委員長、
池淵 周一 委員、黒田 勝彦 委員、戸田 清子 委員、
服部 保 委員、林 宜嗣 委員、松川 雅典 委員、
安永 正昭 委員
(篠崎 由紀子 委員、楨村 久子 委員は欠席)
事務局 近畿地方整備局長、副局長、企画部長、建政部長、河川部長、
道路部長、港湾空港部長、営繕部長、用地部長、
ほか

4. 議 事

1. 開 会

2. 近畿地方整備局長挨拶

3. 事業評価監視委員会審議

1) 再評価の審議

- ・六甲山系砂防事業
- ・瀬田川水系砂防事業
- ・木津川水系砂防事業
- ・九頭竜川水系砂防事業
- ・加古川直轄総合水系環境整備事業
- ・和歌山下津港本港地区防波堤整備事業

2) 事後評価の審議

- ・九頭竜ダム貯水池水質保全事業

4. その他

5. 閉 会

5. 審議結果

1) 再評価の審議

・六甲山系砂防事業

審議の結果、六甲山系砂防事業については、本委員会に提出された資料、説明の範囲において、概ね適切に進められており、対応方針（原案）のとおり、事業を継続することでよいと判断された。ただし、今後とも客観的・合理的な評価手法の開発に努められたい。

・瀬田川水系砂防事業

審議の結果、瀬田川水系砂防事業については、本委員会に提出された資料、説明の範囲において、概ね適切に進められており、対応方針（原案）のとおり、事業を継続することでよいと判断された。ただし、今後とも客観的・合理的な評価手法の開発に努められたい。

・木津川水系砂防事業

審議の結果、木津川水系砂防事業については、本委員会に提出された資料、説明の範囲において、概ね適切に進められており、対応方針（原案）のとおり、事業を継続することでよいと判断された。ただし、今後とも客観的・合理的な評価手法の開発に努められたい。

・九頭竜川水系砂防事業

審議の結果、九頭竜川水系砂防事業については、本委員会に提出された資料、説明の範囲において、概ね適切に進められており、対応方針（原案）のとおり、事業を継続することでよいと判断された。ただし、今後とも客観的・合理的な評価手法の開発に努められたい。

・加古川直轄総合水系環境整備事業

審議の結果、加古川直轄総合水系環境整備事業については、本委員会に提出された資料、説明の範囲において、概ね適切に進められており、対応方針（原案）のとおり、事業を継続することでよいと判断された。

・和歌山下津港本港地区防波堤整備事業

審議の結果、和歌山下津港本港地区防波堤整備事業については、本委員会に提出された資料、説明の範囲において、概ね適切に進められており、対応方針（原案）のとおり、事業を継続することでよいと判断された。

2) 事後評価の審議

九頭竜ダム貯水池水質保全事業については、時間の関係で次回審議することとした。

以 上